

| | |
|-------|-----|
| 都道府県名 | 佐賀県 |
|-------|-----|

学校の概要（平成15年4月現在）

| | | | | | | |
|-----|-----------|-----|-----|------|-----|-----|
| 学校名 | 小城町立小城中学校 | | | | | |
| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 特殊学級 | 計 | 教員数 |
| 学級数 | 6 | 6 | 6 | 1 | 19 | 42 |
| 生徒数 | 223 | 235 | 233 | 7 | 698 | |

研究の概要

1. 研究主題

基礎学力の確実な定着をめざした学習指導のあり方

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年・全教科
全校的な基礎学力の定着と向上を目指すため。

(2) 年次ごとの計画

| | |
|--------|--|
| 平成15年度 | <p>研究テーマ 基礎学力の確実な定着を目指した学習指導のあり方</p> <p>研究の見通し（仮説） 「観点別評価の実践をもとに指導法改善を図れば、基礎学力を定着させることができるだろう」 評価規準・基準をもとに授業を展開し、評価をしながら指導方法の更なる改善を図ること（指導と評価の一体化）で基礎学力をより定着させることができると考える。</p> <p>研究内容・方法 各教科ごとに目標（研究テーマ）、仮説、具体的な内容を設定し実践 観点別評価における数値目標を設定し、実践、評価、指導法の改善に取り組む。</p> <p>教科部会及び専門部会の充実 教科内での共通理解と各専門部からのサポートを図る。</p> <p>授業研究会の実施と指導法改善 授業研究会を開き、評価、研究を重ね指導法改善を図る。</p> <p>評価規準・基準の修正 指導法改善に伴い修正を図る。</p> <p>生徒・保護者へのアナウンス 生徒に対する学習目標、評価の観点の提示、保護者への取組の提示。</p> |
|--------|--|

| | |
|--------|---|
| 平成16年度 | <p>研究テーマ 基礎学力の確実な定着を目指した学習指導のあり方</p> <p>研究の見通し（仮説） 「観点別評価の実践をもとに指導法改善を図れば、基礎学力を定着させ</p> |
|--------|---|

ることができるだろう」

評価規準・基準をもとに授業を展開し、評価をしながら指導方法の更なる改善を図ること（指導と評価の一体化）で基礎学力をより定着させることができると思う。前年度の実践を受け、今後は観点別に、より具体的な短期の実践目標と内容を設定しながら積み上げていく必要がある。

研究内容・方法

各教科ごとに目標（研究テーマ）、仮説、具体的な内容（短期的な実践項目）を設定し実践する。

観点別評価における数値目標を設定し、実践、評価、指導法の改善に取り組む。

教科部会及び専門部会の充実。

教科内での共通理解と各専門部からのサポートを図る。それぞれの時間を定期的に確保する。

授業研究会の実施と指導法改善。

全教科において授業研究会を開き、評価、研究を重ね指導法改善を図る。

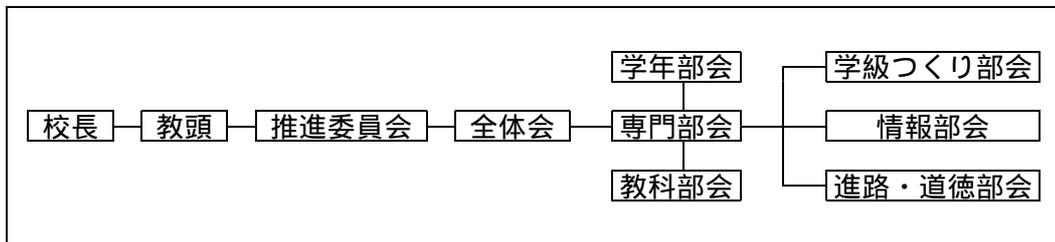
評価規準・基準の修正。

指導法改善に伴い修正を図る。

生徒・保護者へのアナウンス

生徒に対する学習目標、評価の観点の提示、広報紙などを作成し定期的に保護者へ取組の提示をする。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

少人数授業を実施している2年生の英語では、徐々にではあるが成果が見え始めてきた。1学期と2学期の観点別の数値を比較すると「表現」の観点で、「C」が15%から6.8%へ減少し、「B」が57%から72.6%へ上昇した。「理解」の観点でも、「C」が19%から9.3%へ減少し、「A」が16%から35%へ上昇した。学習内容の違いはあるが、少しずつ基礎学力が定着しつつあるようだ。

TTを実施している1年生の数学では「数学的な見方・考え方」の観点で、「C」が25.3%から20.7%へ減少した。

それぞれの教科で成果が表れ始めた要因として、生徒への学習目標・評価の観点の提示や公開研究授業の実施などが考えられる。

単元ごとに、学習目標や評価の観点を提示することで少しずつ目的意識の向上が見え始めてきた。また、公開研究授業を実施することで、教師側の意識も向上したようである。

2. 今後の課題

教科間、教師間で研究に対する意識の差があるので研究推進委員会を中心に情報発信しながら喚起していく。また、全教科による研究授業の実施を予定。

観点別における数値目標の設定、学期ごとの比較を行っているが、その原因と指導法の改善をより具体的にして実践していく必要がある。

生徒や保護者に対して、本校の取組をもっと知ってもらう必要から広報誌などの発行などが考えらる。

学力把握のための学校としての取組

各教科で、学期ごとに観点別における数値目標の設定、及び変容の分析。観点別に分析することで、その後の課題、重点項目が見え指導法改善に生かす。

標準学力検査（NRT...4月実施、CRT...2月実施）による比較、分析。NRTで全国レベルでの状況を知り、CRTで生徒一人一人の変容を明らかにし、その後の指導に生かす。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

第1回公開授業【1年数学/TTによる習熟度別授業】

平成15年11月7日、小城多久地区の中学校とフロンティアスクールの教師を対象に、本校で公開授業を実施した。本校及び他校の実践例や意見交換会を行った。

第2回公開授業【2年英語/少人数による習熟度別授業】

平成15年12月11日、小城多久地区の中学校とフロンティアスクールの教師を対象に、本校で公開授業を実施した。本校及び他校の実践例や意見交換会を行った。

平成16年度は、全教科で公開授業を予定。

校外向けの学校案内パンフレットを作成し、その中でフロンティアスクールとしての取組を紹介した。今後は学校のホームページを利用したり、定期的な広報紙などで保護者への理解を深めたい。

- ~~~~~
- | | | | | |
|----------------------|--|---|--|---|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 3学級以下 | <input type="checkbox"/> 4～6学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 7～9学級 | <input type="checkbox"/> 10～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～15学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> TTによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> その他 | | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | <input checked="" type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 数学 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 | <input checked="" type="checkbox"/> 音楽 | <input checked="" type="checkbox"/> 美術 | <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | | |